

平成26年度（第37期）

公益財団法人岡山県郷土文化財団事業計画

公益財団法人として4期目となる26年度においても、自らの設立基本理念を念頭に据え、公益性をより重視した事業展開に取り組み、定款に掲げた事業をとおして、「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに寄与してまいります。また、事業の実施にあたっては、依然として厳しい財務環境が続く中、より一層効率的で的確な運営に努めるとともに、事業を拡充するための募金活動など自己収入の増大にも努めます。

基本理念

岡山県下に所在する優れた自然や文化的遺産の保護・保存及び管理とその利用の促進を図るとともに、岡山県ゆかりの先賢の顕彰並びに伝統に根ざした地域文化の創造を行うことにより「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに寄与する。

定款に定める事業（第4条関係）

- 1 優れた文化的遺産、自然景勝地、保護すべき動植物の生息地等（以下「文化財等」という。）の取得及び保護活用並びに先賢の顕彰に関する事業
- 2 文化財等や先賢の事績等に関する資料の収集、保存及び公開並びに講演会等の開催その他知識の普及啓発に関する事業
- 3 伝統に根ざした地域文化の創造及び振興に関する事業
- 4 第1号から第3号までに規定する事業に関連するボランティア

ィアの育成及び支援

- 5 第1号から第3号までに規定する事業に関連する受託事業
- 6 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

事業内容（平成26年4月1日から27年3月31日まで）

公1 文化財等保護活用事業（第4条第1号、第4号関係）

(1) 岡山の自然や伝統的工芸、芸能などの文化的遺産等の保護、活用に関する事業

- ① 公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会との連携
- ② 蒜山タンチョウの里（真庭市）の運営支援
- ③ 備中漆復興支援（新見市、真庭市）

・備中うるし利活用協議会による事業を支援する。

特別企画展「備中漆」

岡山県立美術館 11月8日～12月14日

なお、今後3年間は引き続き事務局を担うとともに、募金による寄附金を活用しながら協議会が進める普及啓発事業を支援する。

- ④ 文化財庭園「後楽園」の保護・活用を進めるための由緒ある能舞台での「岡山後楽園で能をたのしむ会」や「お田植え祭り、観蓮節、月見」など伝統行事の伝承、維持

・「岡山後楽園で能をたのしむ会」の開催

岡山後楽園能舞台 10月4日（土）

- ・茶つき祭5月18日（日）、お田植え祭6月8日（日）、観蓮節7月6日（日）、名月観賞会9月8日（日）

⑤ 第四回後楽園写真展及び後楽園一般公開130年記念展示

(明治17年(1884年)岡山県庁の付属地として一般公開されてから130年を記念してゆかりの品を展示する。)

12月20日(土)～1月12日(月)

⑥ 後楽園を国内外の方々によりよく知ってもらうための
「後楽塾(後楽園専任ボランティア育成)」

- ・第10期生 一般コース及び外国語(英語、中国語、韓国語)
コース計20名

募集 9月～(10月末締切)

入塾 11月下旬、講座修了 3月初旬

- ・第8期生(8月卒塾)、第9期生(ボランティア活動)の支援

⑦ 延養亭特別公開 10月20日(月)～11月3日(月)

(2) 岡山県ゆかりの先賢の顕彰に関する事業

① 平成元年に設置した「内田百閒記念碑園(岡山市中区)」
の維持管理

なお、関連施設として岡山県職員会館三光荘内に設置した「内田百閒コーナー」は同荘の閉館のため撤去。

② 内田百閒生誕125年記念事業

- ・本年が内田百閒(1889年(明治22年)5月29日～1971年(昭和46年)4月20日)の生誕125年を記念し関連資料の展示等を行う展示スペースの設置。

- ・顕彰事業 作品朗読会等 8月

③ 生田安宅(岡山の医学教育先駆者)など遺族から寄贈された遺品の整理

- ・資料の整理等

④ 岡山県をはじめ、他団体の顕彰事業への協力

公2 普及啓発事業 (第4条第2号関係)

(1) 資料の収集、保存・公開

- ① 岡山後楽園、内田百閒、犬養木堂、岡崎嘉平太等を中心に本県に所在する文化財等やゆかりの先賢の資料の充実
- ② これまで収集した植物関係図書・文献(難波文庫)の岡山県立図書館への寄託及び植物標本の岡山県自然保護センターへの寄託、郷原漆器(真庭市)資料の岡山県立博物館への寄託、郷土画家の秀作の岡山県立美術館への寄託などその保存・活用

(2) 講演会・研修会等の開催

- ① 専門家を招聘して「郷土文化講座」を開催し、その成果を「岡山の自然と文化」等として取りまとめ、県内の図書館、公民館等の公共施設、大学等の教育機関に配布

・講座数 4講座程度

・開講時期 平成27年1月～3月 4回程度

・場所 岡山県立図書館

- ② 岡山の自然や文化、先賢ゆかりの地での研修会を開催し、現地見学や体験をするとともに、専門家の話を聞き知見を深める。

「現地研修会」を開催

・岸田吟香ゆかりの地を訪ねるコース(美咲町)

4月25日(金)

・黒田官兵衛ゆかりの地を訪ねるコース(瀬戸内市) 6月

- ・池田綱政公300回忌 偉業を辿るコース（岡山市）10月
- ・産業考古学会プレイベント 産業遺蹟とその景観・後楽園周辺を歩くコース（岡山市）11月
- ・鹿田荘を識るコース（岡山大学埋蔵文化財調査研究センター等）12月

「美術鑑賞会等」を開催

- ・「岸田吟香・劉生・麗子 知られざる精神の系譜」展（岡山県立美術館）4月25日（金）
- ・開館50周年記念「林原美術館の知られざる名品展」（林原美術館）5月16日（金）
- ・「山田方谷」展（岡山県立博物館）6月
- ・「岡山の城と戦国武将」展（岡山県立博物館）7月
- ・池田綱政公300回忌記念事業「護国山曹源寺」展（岡山県立博物館）10月
- ・特別企画「備中漆」展（岡山県立美術館）11月
- ・「鹿田荘」（岡山大学埋蔵文化財調査研究センター等）12月
- ・岡山・高知文化交流事業「戦国大名宇喜多氏と長宗我部氏」展（岡山県立博物館）1月

③ 第四回おかやま文化フォーラム

岡山県と共催で、平成23年から3カ年にわたり古代吉備をテーマに文化フォーラムを開催してきた。その結論は、「古代吉備はヤマトに飲み込まれながらも、しぶとく生き残っていったと思いたい」というものでありました。その後の「おかやま」の歴史像を整理することを目的に、『中

世の「おかやま」』（仮称）をテーマに取り上げる。

12月

(3) 広報誌等印刷物の作成

- ① 専門家による寄稿や県内文化施設の催事案内等を掲載した広報誌「きび野」を年4回（各4,500部）発行する。
- ② 会員向けに時々のトピックスを財団ニュース「お知らせ」として年10回程度（各2,800部）送付する。
- ③ 一般向けにホームページで財団の活動紹介や県内文化施設の催事案内等を随時行う。

公3 地域文化振興事業（第4条第3号関係）

(1) 地域文化の創造、育成に関する事業

- ① 郷土文化財団クラシックコンサート
 - ・岡山交響楽団による演奏会
 - 井原市芳井町で開催予定
- ② 郷原漆器（岡山県指定重要無形民俗文化財（民俗技術））について、引き続き郷原漆器生産振興会（真庭市）の生産体制の強化と販売促進、後継者の育成に協力する。
- ③ 会員作品展
 - ・天神山プラザ 第2展示室 5月20日（火）～25日（日）
- ④ 県内各地で開催される各種文化活動を共催し、開催費の一部及び広報を支援するとともに、地域文化活動を奨励するため後援を行い広報を支援するなど地域文化の育成を図る。また、広報誌「きび野」に県内各地の文化施設の催事、行事を定期的に掲載し広く一般に配布し、文化施設の活用を支援する。

(2) 苗木交付事業

サクラ（国花）、モモ（県花）、ウメなど古来から親しまれてきた花木の苗木を市町村を通じて希望する地元コミュニティに配布し、植栽、管理を協働で行うことにより地域の景観形成と地域の活性化、花見、果実の活用等の木の文化育成を図る。

- ・ 交付基準 1市町村1年度当たり100本以内、公共的な場所1カ所当たり50本以上

公4 受託事業（第4条第5号関係）

(1) 文化財庭園「後楽園（岡山市北区）」の管理運営受託

(2) 岡山の先賢を顕彰する「犬養木堂記念館（岡山市北区）及び生家」及び「岡崎嘉平太記念館（加賀郡吉備中央町）」の指定管理

(3) 自然との触れ合いを通じて、県民の自然への理解を深め、自然保護への認識を高める「岡山県自然保護センター（和気郡和気町）」のタンチョウ飼養管理及び傷病鳥獣の保護、動植物の調査研究、自然保護思想の普及啓発等業務の受託

(4) 第十二回岡山県「内田百閒文学賞」の実施

「内田百閒文学賞」の募集等に関する業務を県から受託し、今年度は作品審査、表彰及び入賞作品刊行等の企画・運営を行う。

平成26年度（第37期）に係る資金調達及び設備投資の見込みについて

1 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

2 設備投資の見込みについて

当期中における設備投資の予定はありません。